

2022年5月27日
大崎電気工業株式会社

当社グループは、サステナビリティを巡る課題への対応を、企業の持続可能性を揺るがすリスクのみならず、収益機会の拡大につながる重要な経営課題と認識しております。

私たちは、事業活動を通じてエネルギー関連の様々な社会課題を解決し、社会とともに持続的に成長するために優先的に取り組むべき重要なマテリアリティの目標を設定しました。

大崎電気グループのマテリアリティ

1. 環境負荷の低減
2. 持続可能なまちづくりへの貢献
3. 人権の尊重
4. 多様性を認め合う職場づくり、課題解決に貢献する人材の育成
5. ガバナンス体制の強化

1. 環境負荷低減

重要課題区分	社会課題	貢献するSDGs	対象範囲	2030年目標	
中計重点戦略：スマートメーターを活用した付加価値創出とエネルギー・ソリューションの拡大					
1 環境 負荷 低減	スマートメーターによる貢献	エネルギー活用の効率化	13 気候変動に具体的な対策を	グループ	スマートメーターを通して、地球規模での再生可能エネルギーやカーボンニュートラル燃料など多様化するエネルギーの利用効率化・安定化に貢献
		エネルギー効率の改善	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに		
	脱炭素ソリューションの推進	温室効果ガス排出量削減	13 気候変動に具体的な対策を	大崎電気	施設（ビル・工場等）における脱炭素サービスの拡充による環境負荷低減への貢献
		パートナーシップの推進	17 パートナーシップで目標を達成しよう	大崎電気	パートナーシップによる新たな脱炭素サービスの構築
	研究開発の推進	エネルギー効率の改善	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	グループ	<ul style="list-style-type: none"> スマートメーターの開発を通して、多様化するエネルギーの利用効率化・安定化に貢献 脱炭素サービスの開発による環境負荷低減への貢献
		持続可能なインフラ開発	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	グループ	
		クリーン技術の開発		グループ	

1. 環境負荷低減

重要課題区分	社会課題	貢献するSDGs	対象範囲	2030年目標
中計重点戦略：スマートメーターを活用した付加価値創出とエネルギー・ソリューションの拡大				
1 環境 負 荷 低 減	自社拠点での温室効果ガス排出量の削減	温室効果ガス排出量削減	グループ	温室効果ガス排出量削減 ⇒2013年度比46%削減
		再生可能エネルギーの活用	大崎電気	埼玉事業所 再資源化率99.5%以上
		天然資源の効率的な利用	大崎電気	
		水質の改善	大崎電気	事業活動に係る水質管理による環境負荷低減への貢献

2. まちづくり

重要課題区分	社会課題	貢献するSDGs	対象範囲	2030年目標	
中計重点戦略：スマートメーターを活用した付加価値創出とエネルギー・ソリューションの拡大 /コアとなる新製品・新事業の創出/利益を重視したグローバル成長					
2 まちづくり	スマートメーターの 付加価値創出	都市における基本的サービスへの確保		グループ	スマートメーターによる送配電網のレジリエンス強化や最適化への貢献
		災害に対し強靱なまちづくり		グループ	
		持続可能な都市化		グループ	
	業務省人化を実現するスマートビルディングシステムの推進	持続可能な都市化		大崎電気	施設管理支援サービスを拡充し、施設管理の効率化による労働人口減少への対応と持続可能な居住管理への貢献
	パートナーと連携した取り組み	持続可能な都市化		大崎電気	パートナーシップによる新たな事業の創出や技術の構築
		パートナーシップの推進		大崎電気	
		持続可能なインフラ開発		大崎電気	


2. まちづくり / 3. 人権の尊重

重要課題区分	社会課題	貢献するSDGs	対象範囲	2030年目標
2 まちづくり	中計重点戦略：スマートメーターを活用した付加価値創出とエネルギー・ソリューションの拡大 /コアとなる新製品・新事業の創出/利益を重視したグローバル成長			
	グローバルな電力インフラへの貢献		海外グループ	スマートメーターを通じて各国への安定的・効率的な電力供給への貢献
グローバルな電力インフラへの貢献	貧困層へのレジリエンス強化		海外グループ	
3. 人権の尊重	中計重点戦略：グループ経営基盤の強化（グループリスク管理の強化）			
	差別的な法律、政策及び慣行の撤廃		グループ	グループ内及びサプライチェーンにおいて人権侵害を発生させない・加担しない体制の強化
	強制労働・児童労働の撲滅		グループ	
ジェンダーの平等		グループ		

4. 働き方

重要課題区分	社会課題	貢献するSDGs	対象範囲	2030年目標
中計重点戦略：グループ経営基盤の強化（人材育成・活用の強化）				
4 働 き 方	多様性を活かす 職場環境の整備	多様性の尊重	国内グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・社員一人ひとりが安心、安全に、やりがいを持って働くことができる職場環境・制度の整備 ・労働災害ゼロ件継続の推進
		働きがいのある職場の整備		
		ジェンダーの平等	大崎電気	
	人材の育成	人材の育成	大崎電気	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の変化や課題に柔軟かつ発想豊かに対応できる人材の育成 ・大崎独自のSDGs教育プログラムの定着 ⇒当検定合格率100%
		公平で質の高い教育	大崎電気	
	健康経営の推進	働きがいのある職場の整備	大崎電気	社員一人ひとりが心身ともに健康に働くことができる職場環境の整備
		健康的な生活を確保	大崎電気	<ul style="list-style-type: none"> ・二次検診受診率100% ・喫煙率0%

5. ガバナンス

重要課題区分	社会課題	貢献するSDGs	対象範囲	2030年目標	
中計重点戦略：グループ経営基盤の強化（グループリスク管理の強化）					
5 ガ バ ナ ン ス	コーポレート・ガバナンスの強化	ガバナンス体制の強化	グループ	コーポレート・ガバナンスの継続的な強化	
	リスクマネジメント	ガバナンス体制の強化	グループ	リスク管理の徹底	
	コンプライアンス	非差別的な政策の推進		グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンスの徹底 ・重大なコンプライアンス事案の発生数 0件
		差別的な法律、政策及び慣行の撤廃		